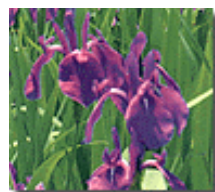


盛岡市の産業振興と 産学官連携研究センター(コラボMIU)について



市の花「カキツバタ」



市の鳥「セキレイ」



市の木「カツラ」



岩手大学地域連携推進センター
地域連携推進協力員 福士 由岐洋

1 「盛岡」ってどんなところ？

①位置



各都市等からの所要時間(公共交通機関)	
東京－盛岡(JR東北新幹線はやて)	2時間21分
仙台－盛岡(JR東北新幹線はやて)	43分
八戸－盛岡(JR東北新幹線はやて)	29分
秋田－盛岡(JR秋田新幹線こまち)	1時間26分
札幌－花巻(空路)	55分
名古屋(中部国際)－花巻(空路)	1時間10分
大阪(伊丹)－花巻(空路)	1時間20分
福岡－花巻(空路)	1時間55分

1 「盛岡」ってどんなところ？

①位置



岩手山

人口：30万740人
面積：886.47km²

雫石川

北上川

中津川

1 「盛岡」ってどんなところ？



舞台は岩手県(主に盛岡市, 遠野市) 放送: 4月2日から9月29日まで

1 「盛岡」ってどんなところ？

食文化と特産品

■ 盛岡3大麺



わんこそば



盛岡冷麺



じゃじゃ麺

2 盛岡市の産業施策

■工業振興策

☆優位性を活かした振興策の実施

- 本市及び周辺地域が有する技術・人材等の地域資源を最大限に活用
- 産学官連携や企業誘致を積極的に推進
- 地場企業とのネットワークを構築しながら、産業の活性化並びに雇用の場の創出

2 盛岡市の産業施策

■工業振興策

☆企業の段階に応じた支援

1 研究・開発, 創業



盛岡市産業支援センター



collabo
MIU
Research and development center by
collaboration of
Morioka city and Iwate University

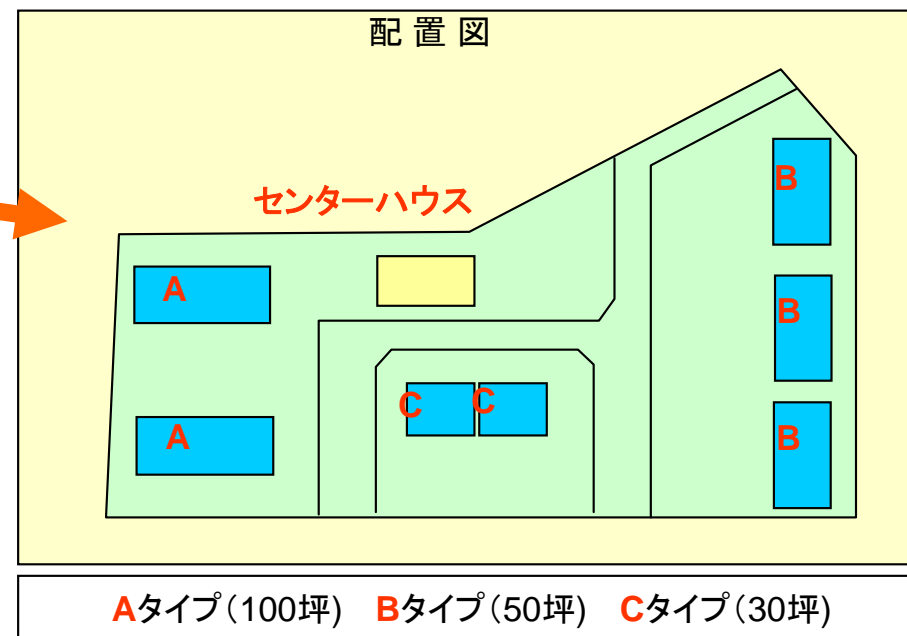
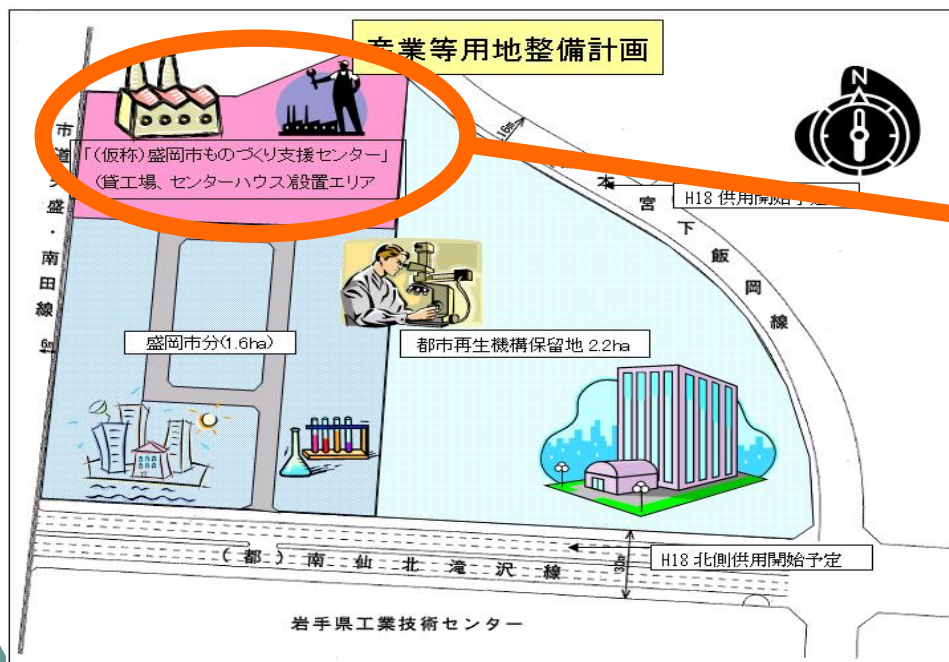
コラボMIU

2 盛岡市の産業施策

■ 工業振興策

☆ 企業の段階に応じた支援

2 量産試作・適用試験



(仮称)盛岡市新事業創出支援センター (H20, 5オープン)

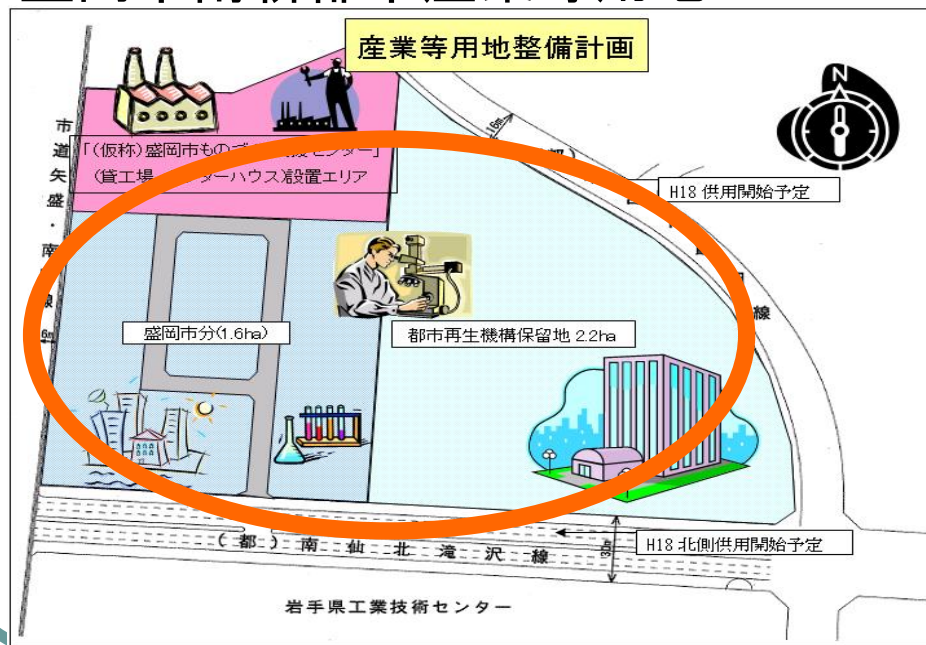
2 盛岡市の産業施策

■ 工業振興策

☆ 企業の段階に応じた支援

3 量産・本格適用, 新設・拡充

盛岡市南新都市産業等用地



- 玉山区内で工場適地調査を実施中
- 四十四田工業団地を造成中
- 既存工業団地
 - 盛岡中央工業団地
 - 盛岡南工場流通団地
 - 都南工業団地
 - 盛岡工業団地
 - 玉山区芋田地区工業地域

2 盛岡市の産業施策

■工業振興策

☆優遇制度

- ・工場等の新設拡充に対する補助金
(投資額の10~15%, 最大3億円)
- ・雇用奨励金の交付 (20万円/人)
- ・情報関連企業立地促進事業補助金 (最大3,500万円)
- ・特定地域における産業の活性化に関する条例に係る助成
(製造業に対し, 税の優遇, 大型補助)

- ・産学共同研究事業補助金 (50万円/件)
- ・盛岡市新分野進出事業補助金 (100万円/件)

3 盛岡市産学官連携研究センターの概要

■ 施設概要

- 設置趣旨：岩手大学と盛岡市の連携により新技術又は新製品を開発しようとする企業等を支援するため
- 設置者：盛岡市， 指定管理者：岩手大学
- 開所日：平成19年8月1日



3 盛岡市産学官連携研究センターの概要

■ 施設概要

- ・ 建設費用：約5億円
事業名 電源地域新事業支援施設等整備事業
- ・ 構造等：鉄筋コンクリート造3階建,
延床面積 約2,114.68m²
- ・ 研究開発室：34室, 事業化支援ブース：8ブース

3 盛岡市産学官連携研究センターの概要

■施設概要

- ※ 自治体が国立大学法人の敷地内に建設する産学官連携施設としては、東北初。

- ※ 大学と自治体の連携先行事例
 - ・ 信州大学繊維学部(上田市)
 - ・ 信州大学工学部(長野市)
 - ・ 富山大学(富山市)
 - ・ 日大工学部(郡山市)

3 盛岡市産学官連携研究センターの概要

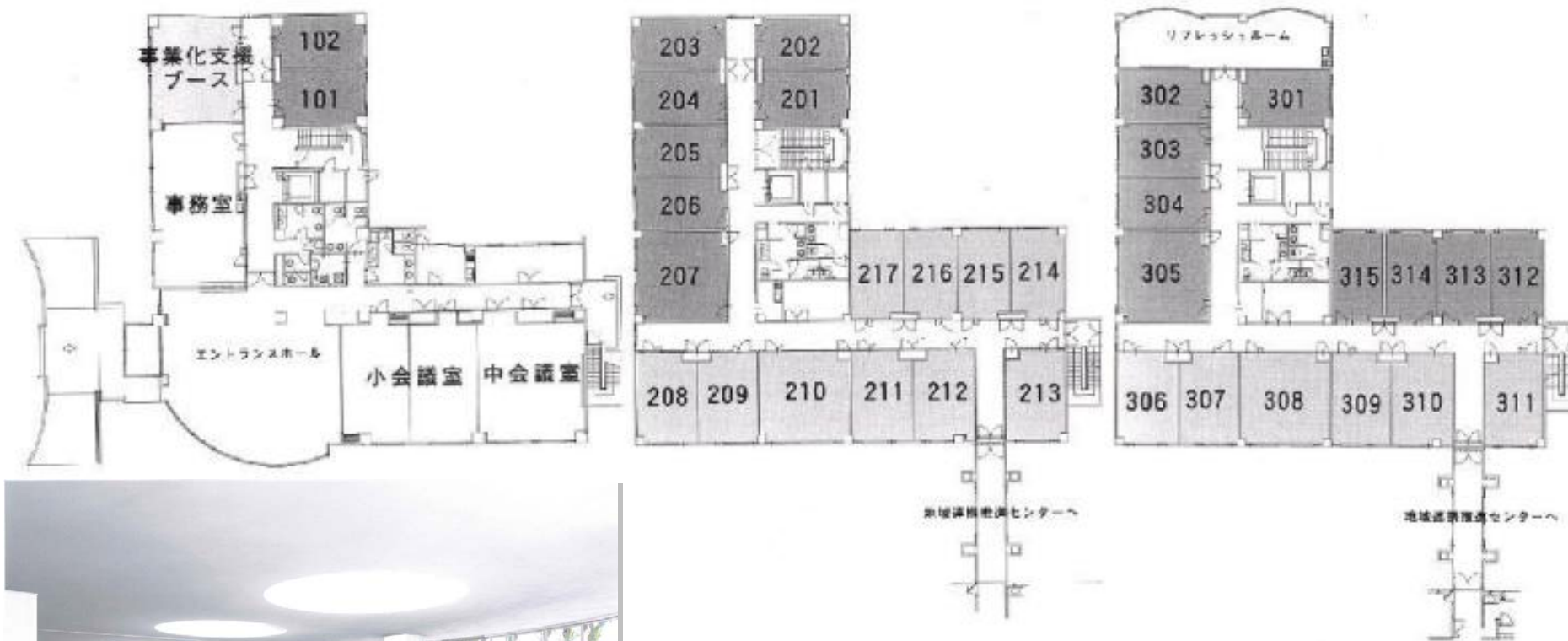
位置図

岩手大学工学部構内図



3 盛岡市産学官連携研究センターの概要

■ 施設概要（配置図）



3 盛岡市産学官連携研究センターの概要

■ 入居条件

- ・ 新技術又は新製品の開発を行おうとする者で、岩手大学と共同研究を実施するもの
- ・ 岩手大学の研究成果を基に新たな企業の創出をしようとする者又は創出した者
- ・ センターの機能の補完に寄与すると認められる者

3 盛岡市産学官連携研究センターの概要

■ 入居期間

- ・ 研究開発室は，原則 3 年，最長 5 年。
- ・ 事業化支援ブースは，原則 1 年，最長 2 年。

■ 賃料（月額）

- ・ 研究開発室は，41,000～71,000円/室
(1,650円/m²)
- ・ 事業化支援ブースは，1ブースあたり 15,000円

3 盛岡市産学官連携研究センターの概要

■ 支援機能

- ・ 専任のインキュベーションマネージャーによる支援
- ・ 支援委員会による経営，販路開拓等の支援
- ・ 地域連携推進センター専門スタッフ約50名による人的・物的支援

3 盛岡市産学官連携研究センターの概要

■ 入居企業

- ・ 県内企業 9 社（うち岩手大学発ベンチャー 7 社）
- ・ 県外企業 7 社
- ・ N P O 1 団体

※ 現在の入居率

20室/34室， 入居率：約 6 割

年度内， 8 割の入居率達成を目標！

3 盛岡市産学官連携研究センターの概要

■ 入居企業

1	(有)ザゼンソウ技術開発研究所	10	日本天然素材(株)
2	(株)ユニテック	11	日本ピストンリング(株)
3	球眼(有)	12	(株)ゴーイング・ドットコム
4	(株)アイカムスラボ	13	エムバイオテック(株)
5	(有)いわて動物鍼灸センター	14	ナミックス(株)
6	ハードメタル(株)	15	(株)マーフィーシステムズ
7	(有)マクロネットワークス	16	(株)カツラヤマテクノロジー
8	(株)いおう化学研究所	17	NPO法人学生ビジニティいわて
9	(株)ニュートン		

3 盛岡市産学官連携研究センターの概要

■ 施設の役割

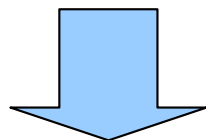
- ・ 入居者支援⇒新技術開発による新産業創出と
卒業後の市内での事業展開への方向付け
- ・ 地元企業支援
 - ① 入居者以外の地元企業に対する支援
 - ② 入居者と地元企業とのネットワークの構築
- ・ 市民との交流の場の提供（産学官民連携）

3 盛岡市産学官連携研究センターの概要

■今後の展開

- ・ 岩手大学との共同研究により，活用策を検討
- ・ 研究期間：2年間（予定）
- ・ 研究題目

センターの活用方策及び当施設を拠点とする産学官連携のシステムの構築について



産学官連携を機軸とした，当市の産業振興の拠点としての役割を確立する。

ご清聴，ありがとうございました。



舞台は岩手県(主に盛岡市，遠野市) 放送：4月2日から9月29日まで